

「G-CSF適正使用ガイドライン2013年版Ver.2」

※変更箇所＝下線の箇所，追加＝【追加】の箇所，差替え＝【差替え】の箇所，削除＝【削除】の箇所

※新旧対照表は「図表を含めた本文」「検索式・参考にした二次資料」の順に掲載

「CQ一覧・はじめに・アルゴリズム」新旧対照表

冊子体の頁	項目	該当箇所(行数は冊子体による)	2013年版	2013年版Ver.2
iv	Clinical Question 一覧	CQ12 CQ12の推奨グレード	CQ12 ペグフィルグラスチムの <u>二次</u> 予防的投与は有用か？ A 【追加】 B	CQ12 ペグフィルグラスチムの 【削除】 予防的投与は有用か？ A, <u>A</u> , B
3	はじめに (5)作成の経緯	8行目	ポリエチレングリコール (polyethylene glycol : PEG) をG-CSF に付加した持続型製剤PEG 化G-CSF (承認申請中) については欧米の無作為化比較試験の成績を参考に解説したが，わが国では未承認薬である。	ポリエチレングリコール (polyethylene glycol : PEG) をG-CSF に付加した持続型製剤PEG 化G-CSFについては， <u>2014年9月にわが国でも承認された</u> 。欧米の無作為化比較試験の成績に加え，改訂版ではわが国での試験結果も追記した。
5	診療アルゴリズム	G-CSF 一次予防的投与 * 初回化学療法前の評価	*2 わが国の保険診療では，化学療法のレジメンを限定せず，悪性リンパ腫，肺小細胞がん，胚細胞腫瘍（精巣腫瘍，卵巣腫瘍など），神経芽細胞腫，小児がんに対する化学療法の翌日からG-CSFの一次予防的投与が認められているが，一次予防的投与における主力薬剤であるペグ化G-CSFが認可されていない。	*2 わが国の保険診療では，化学療法のレジメンを限定せず，悪性リンパ腫，肺小細胞がん，胚細胞腫瘍（精巣腫瘍，卵巣腫瘍など），神経芽細胞腫，小児がんに対する化学療法の翌日からG-CSFの一次予防的投与が認められている 【削除】 。
6	診療アルゴリズム	G-CSF 二次予防的投与 *2回目以降の化学療法開始前の評価	赤枠線を【差替え】と赤下線箇所【追加】 詳細は，「2. 発熱性好中球減少症の定義とリスク」「4. 二次予防的投与」を参照。	 * 化学療法の減量・スケジュール変更が行なわれたうえで，G-CSF の適応に関する推奨グレード 詳細は，「2. 発熱性好中球減少症の定義とリスク」「4. 二次予防的投与」を参照。